

# 市民協働事業 相互評価シート

## 1 市民協働事業の概要

事業名称	ほ도가や市民活動センター アワーズ																													
事業の実施者	団体等	特定非営利活動法人 横浜市民アクト																												
	行政	横浜市																												
事業の目的	市民活動及び生涯学習の支援をとおして、市民の理解と参画のもとに、市民一人ひとりが豊かに暮らせる地域社会の実現を目指す。																													
事業の内容	(1) 活動場所の提供 (2) 情報の提供 (3) 相談・コーディネート (4) 講習会・研修会などの自主事業 (5) その他市民活動及び生涯学習推進に必要な支援																													
役割及び責任 分担等	協働契約書第8条の規定に基づき、次に掲げる役割を分担し、その役割についてそれぞれの責任で事業を行う。																													
	事業項目	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業項目</th> <th>受託者の役割</th> <th>委託者の役割</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受託者・委託者が共に果たす役割</td> <td colspan="2">           ◎事業運営に関する情報共有            ◎定期的な共同会議の実施            ◎第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討         </td> </tr> <tr> <td>施設及び設備の維持管理に関すること</td> <td>           ◎設備の管理、保守・点検            ◎軽微な維持管理            ◎単年度の修繕計画の立案         </td> <td>           ◎設備の提供            ◎設備管理に関する調整及び協力            ◎中・長期の施設運営計画の検討         </td> </tr> <tr> <td rowspan="3">運営全般に関すること</td> <td>場所提供</td> <td>◎利用しやすい雰囲気、ルール作り</td> <td rowspan="3">           ◎施設利用方法等について受託者と協議し、方針を決定             ◎課題解決に必要な行政情報等の提供            ◎把握した課題等を施設・事業運営へ反映するための方針決定         </td> </tr> <tr> <td rowspan="2">活動支援</td> <td>市民・団体向け</td> <td>           ◎相談対応による市民ニーズや課題の把握            ◎把握した課題等の解決に向けた助力の提供            (情報提供、適切な機関や人へのつなぎ、団体支援等)         </td> </tr> <tr> <td>区内施設向け</td> <td>地域コーディネートにおける相談窓口</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業に関すること</td> <td>事業全般</td> <td>           ◎市民活動に関する情報を収集・整理・提供            ◎広報紙の発行            ◎ホームページの開設、運営         </td> <td>           ◎区広報紙面確保等、広報機会の協力            ◎行政情報等の提供            ◎事業運営への協力         </td> </tr> <tr> <td>自主企画事業</td> <td>           ◎活動入門事業の実施            ◎個人・団体同士の交流、ネットワーク構築事業の実施            ◎活動支援・人材育成につながる事業            ◎区民利用施設同士の交流・情報共有を図る事業         </td> <td>           ◎事業実施の支援            ◎関係機関との連絡調整            ◎ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供         </td> </tr> <tr> <td>地域人材ボランティアバンク（街の学習応援隊）</td> <td>           ◎登録者の管理            ◎区内活動団体、施設への紹介            ◎PR・交流の機会提供         </td> <td>◎事業運営への協力</td> </tr> </tbody> </table>	事業項目	受託者の役割	委託者の役割	受託者・委託者が共に果たす役割	◎事業運営に関する情報共有 ◎定期的な共同会議の実施 ◎第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討		施設及び設備の維持管理に関すること	◎設備の管理、保守・点検 ◎軽微な維持管理 ◎単年度の修繕計画の立案	◎設備の提供 ◎設備管理に関する調整及び協力 ◎中・長期の施設運営計画の検討	運営全般に関すること	場所提供	◎利用しやすい雰囲気、ルール作り	◎施設利用方法等について受託者と協議し、方針を決定  ◎課題解決に必要な行政情報等の提供 ◎把握した課題等を施設・事業運営へ反映するための方針決定	活動支援	市民・団体向け	◎相談対応による市民ニーズや課題の把握 ◎把握した課題等の解決に向けた助力の提供 (情報提供、適切な機関や人へのつなぎ、団体支援等)	区内施設向け	地域コーディネートにおける相談窓口	事業に関すること	事業全般	◎市民活動に関する情報を収集・整理・提供 ◎広報紙の発行 ◎ホームページの開設、運営	◎区広報紙面確保等、広報機会の協力 ◎行政情報等の提供 ◎事業運営への協力	自主企画事業	◎活動入門事業の実施 ◎個人・団体同士の交流、ネットワーク構築事業の実施 ◎活動支援・人材育成につながる事業 ◎区民利用施設同士の交流・情報共有を図る事業	◎事業実施の支援 ◎関係機関との連絡調整 ◎ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供	地域人材ボランティアバンク（街の学習応援隊）	◎登録者の管理 ◎区内活動団体、施設への紹介 ◎PR・交流の機会提供	◎事業運営への協力
	事業項目	受託者の役割	委託者の役割																											
	受託者・委託者が共に果たす役割	◎事業運営に関する情報共有 ◎定期的な共同会議の実施 ◎第三者（利用者・事業運営評議会等）の意見や提案についての協議・検討																												
	施設及び設備の維持管理に関すること	◎設備の管理、保守・点検 ◎軽微な維持管理 ◎単年度の修繕計画の立案	◎設備の提供 ◎設備管理に関する調整及び協力 ◎中・長期の施設運営計画の検討																											
運営全般に関すること	場所提供	◎利用しやすい雰囲気、ルール作り	◎施設利用方法等について受託者と協議し、方針を決定  ◎課題解決に必要な行政情報等の提供 ◎把握した課題等を施設・事業運営へ反映するための方針決定																											
	活動支援	市民・団体向け		◎相談対応による市民ニーズや課題の把握 ◎把握した課題等の解決に向けた助力の提供 (情報提供、適切な機関や人へのつなぎ、団体支援等)																										
		区内施設向け		地域コーディネートにおける相談窓口																										
事業に関すること	事業全般	◎市民活動に関する情報を収集・整理・提供 ◎広報紙の発行 ◎ホームページの開設、運営	◎区広報紙面確保等、広報機会の協力 ◎行政情報等の提供 ◎事業運営への協力																											
	自主企画事業	◎活動入門事業の実施 ◎個人・団体同士の交流、ネットワーク構築事業の実施 ◎活動支援・人材育成につながる事業 ◎区民利用施設同士の交流・情報共有を図る事業	◎事業実施の支援 ◎関係機関との連絡調整 ◎ネットワーク構築及び推進に必要な情報提供																											
	地域人材ボランティアバンク（街の学習応援隊）	◎登録者の管理 ◎区内活動団体、施設への紹介 ◎PR・交流の機会提供	◎事業運営への協力																											
実施期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日まで																													

記入日	令和 8 年 2 月 20 日
記入者	<p>[団体等]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・団体等名： 特定非営利活動法人 横浜市民アクト</li> <li>・記入責任者 氏名： 北川 有紀 連絡先： 045-334-6306</li> </ul>
	<p>[行政]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・部署名： 保土ヶ谷区地域振興課</li> <li>・記入責任者 氏名： 川瀬 倫子 連絡先： 045-334-6308</li> </ul>

## 2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないます。

### ◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

#### ①事業計画段階

		団体等	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	B	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	A	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	B	B
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	A	B
5	会計のルール等、お互いの組織内部の取り決めについて、説明し合っよく理解することができましたか。	B	B
6	事業を始めることや計画中であることを、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	B

#### ②事業実施段階

		団体等	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	B
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	B	B
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	B	C
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	B	C
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	B	B
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	A	B
7	事業の進捗状況を、ホームページや会報等を使って市民に発信することができましたか。	A	B

#### ③ふりかえり段階

		団体等	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	B	C
2	受益者が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	B	B
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合っ、確認する事ができたか。	B	B
4	期待された事業成果を得られることができたか。	A	B

### 3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成します。

#### 事業の計画づくり

(協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

##### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・年度初めにアワーズの事業計画を区役所に説明し、目的や方向性について相互の認識を共有できた。協働による事業実施ができるよう、計画段階での区役所担当者とセンターとの話し合いは、今後も丁寧に行っていく必要があると感じた。
- ・協働運営会議に区役所担当者も出席して意見交換を行い、センター利用者の思いを共有することで、その後の事業や移転について双方で丁寧に進めていくことができた。今後も適宜、区役所担当者が現場に出向く必要性を感じた。

##### 【今後改善が必要と思われること】

- ・区役所の担当者が複数体制で情報伝達の混乱が生じたため、窓口一本化と情報共有体制の整理が必要である。
- ・次年度は施設運営者二者と委託者による三者会議と、市民を交えた協議の継続が必要である。
- ・企画の段階から双方の役割や協力体制についての話し合いが必要である。
- ・区での講座や施設間連携等について、前年度の段階から複数年度を見据えた計画の組み立てが必要である。

#### 事業実施

(協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)

##### 【共有できたことや認識に違いがあったこと】

- ・市民発案で座談会や施設見学会を開催でき、改めて協働による施設づくりの意義を行政と共有できた。
- ・移転に関する照会事項で回答や反映が見えにくい点もあり、結果だけでなく経過や判断理由の共有も必要だと感じた。
- ・移転について利用者の声を取り上げる、市民団体に講師の紹介を行う等活動支援の充実について共有ができた。
- ・現事業の継続や今後についての共有ができた。

##### 【今後改善が必要と思われること】

- ・認識共有が不足している点については、定期打合せや記録化の必要性も感じるが事務負担も大きく、本来は日常的な意思疎通で補える体制づくりがより重要だと考える。
- ・引き続き事業終了後の振り返りを双方で丁寧に行い、経験を次年度に活かす仕組みを続けていきたい。
- ・定期的に進捗共有の時間を設け、事業実施中の協力や軌道修正等ができるような体制づくりが必要である。

**事業の成果**

(協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)

- ・ 移転を契機に対話の機会を設け、市民と行政が協働で運営するアワーズづくりに寄与した。
- ・ 移転後も活動継続ができるように伴走支援したことで各団体の自律性向上につながった。
- ・ 今後のさらなる協働に向けての課題について共有した。

**自由記入欄**